

項目	入力欄	入力の際の注意
科目名	教養演習I	必須
教員名	後藤史子	必須
授業概要とねらい	<p>テーマ：アニメーションを通してわたしたちの社会と文化について考える</p> <p>現在、ポピュラー・カルチャーの世界でアニメーションは一大トレンドとなっています。日本では昨年の『君の名は。』の大ヒットや『この世界の片隅で』が受けた高い評価、アジアのみならず欧米のファンが『聖地巡礼』や『コスプレ』に熱狂する現象、テレビからインターネット配信まで様々な媒体から発せられる多様な作品たち...と、今やアニメーションは現代日本文化の代名詞とも言えるほどになっています。他方アメリカではディズニー・アニメーションが『アナと雪の女王』の世界的ヒットに見られるように好調で、わたしたちにも大きな影響を与えています。</p> <p>この教養演習では、アニメーションの作品を読み解くことによって、私たちの社会と文化について考えます。アニメーションは多くはファンタジーの世界として描かれますが、必ずリアルな社会と文化の諸相に関連し、なんらかのコメントを発しています。さらに、子ども時代以来わたしたちが触れてきた数多くのアニメーション作品は意識しないうちにわたしたちの考え方に大きな影響を与えています。アニメーションの発する隠れた声聞きとり、それを受容してきた自らの意識を開いて、わたしたちの社会と文化について考えましょう。</p> <p>さらに、上記のテーマで研究しながら、大学生として欠かせない勉学のスキルを学んでいきましょう。</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
望ましい水準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献を読み、深く理解することができる</li> <li>2. 文献を使い、自分の考えを表現することができる</li> <li>3. 発表、討論において自分の考えを適切に表現することができる</li> <li>4. 期末レポートにおいて適切に文献を用い、自分の論を展開することができる</li> <li>5. 授業への積極的な参加</li> </ol>	<p>必須 全角200字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
授業計画	<p>前期： まず、アニメーションが現実の社会と文化をどのように描き出しコメントしているか、アニメーションの受容によってどんな社会・文化現象が生まれているか、について論じた文献をレポーター制により講読します。次に具体的なアニメーション作品（『千と千尋の神隠し』などを予定しています）を取り上げてグループまたは個人でテーマを定めて課題に取り組み、発表とディスカッションを行います。こうして、勉学のスキル＝テーマの選び方、文献の調べ方、報告・発表・討論の仕方を学びます。</p> <p>後期： 前期で学んだことを踏まえて、参加者のそれぞれが選んだ作品とテーマについて調査・研究した内容を発表してもらい、それに関してディスカッションを行います。以上の活動を通して、勉学のスキル＝作品・テーマの論じ方、レポートの書き方を学びます。</p> <p>大まかな流れは次の通りです。</p> <p>第1回： イントロダクション 第2 - 5回： アニメーションに関する文献講読 第6 - 7回： 作品鑑賞 第8 - 12回 課題作品研究 第13 - 14回 課題作品研究発表 第15回： まとめ</p>	<p>必須 15回分記載してください</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
教材・教科書	<p>齊藤美奈子『紅一点論』（ちくま文庫）</p> <p>津堅信之『日本のアニメは何がすごいのか 世界が奪かれた理由』（祥伝社新書）</p> <p>岡田斗司夫『大人の教養として知りたすぎる日本のアニメ』（Amazon Japan G.K.）</p> <p>*入手方法は、生協で購入してもらうか、またはプリントを配布します</p>	全角200字以内
参考図書	<p>土居伸彰『21世紀のアニメーションがわかる本』（フィルムアート社）</p> <p>町口哲夫『教養としての10年代アニメ』（ポプラ新書）</p> <p>斎藤環『戦闘美少女の精神分析』（ちくま文庫）</p> <p>河野真太郎『戦う姫、働く少女』（POSSIBLE）</p> <p>須川亜紀子『少女と魔法 ガールヒーローはいかに受容されたのか』（NTT出版）</p> <p>*その他の文献については、授業中に指示します</p>	全角200字以内
参考URL		半角100字以内
授業以外の学習	<p>予習は必須です。文献講読の際には必ず事前に読んでから参加してください。報告、発表の準備には十分時間をかけてください。日頃からいろいろなことに関心を持って、研究テーマの種を見つけてください。</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
成績評価の方法	<p>「望ましい水準」の各項目について、以下の&lt;評価の方法&gt;および&lt;評価の基準&gt;によって成績評価を行います。</p> <p>&lt;評価の方法&gt; 授業への参加度、報告・発表、討論、レポートなどから総合的に判断します。</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
成績評価の基準	<p>&lt;評価の基準&gt;</p> <p>A: すべての項目において高い水準に達している</p> <p>B: 一部の項目において高い水準に達している</p> <p>C: すべての項目において望ましい水準に達している</p> <p>D: 一部の項目において望ましい水準に達している</p> <p>F: 多くの項目において望ましい水準に達していない</p>	<p>必須 全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
オフィスアワー	<p>木曜5時限（16：20～17：30）</p> <p>上記以外にも対応できます。メールでアポイントを取ってください。</p>	<p>必須 全角100字以内</p>
留意点・注意事項	<p>研究室メールアドレス：a078@ipc.fukushima-u.ac.jp</p>	<p>全角100字以内</p>
その他	<p>このゼミでは、特にアニメに詳しい必要はありません。アニメに限らず、映画、TVドラマ、まんが、小説など、「物語」を読んだり見たりすることが好きで、調べることに労を惜しまない人の参加を期待します。</p>	全角100字以内
ディプロマポリシー大区分1	幅広い教養	
ディプロマポリシー小区分1		
ディプロマポリシー大区分2		
ディプロマポリシー小区分2		
ディプロマポリシー大区分3		
ディプロマポリシー小区分3		
ディプロマポリシー大区分4		
ディプロマポリシー小区分4		
ディプロマポリシー大区分5		
ディプロマポリシー小区分5		
ディプロマポリシー大区分6		
ディプロマポリシー小区分6		
ディプロマポリシー大区分7		
ディプロマポリシー小区分7		
ディプロマポリシー大区分8		
ディプロマポリシー小区分8		
ディプロマポリシー大区分9		
ディプロマポリシー小区分9		
ディプロマポリシー大区分10		
ディプロマポリシー小区分10		
ディプロマポリシーその他		
		<p>必須 全角999字以内</p> <p>ディプロマポリシーはプルダウンで選択してください。（セル右側の をクリック） 大区分を選択するとそれに対応する小区分が選択できるようになります。 大区分と小区分をセットで1つ以上選択してください。</p>